

平成24年度

事業計画書

横浜市桂山公園こどもログハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

(1) 運営団体に関すること

ア 運営団体の概要

イ 経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

ウ 団体が行った公運営の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 運営団体の概要

特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会（平成21年9月設立）は、地域のコミュニティ、文化・スポーツ活動の拠点として、地区センターやコミュニティハウス・子どもログハウスなどの管理運営を行い、地域の様々な活動を支援してきました。地区センターやコミュニティハウスで実施する自主講座などから新たなグループが数多く誕生しており、生きがいつくりや環境保全などの課題に主体的に取り組んだり地域の歴史を学び郷土愛を育む契機にするなど様々な活動が行われています。

イ 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

〈経営方針〉

- ① 区民が気軽に快適に安心して利用できる施設運営を行い、利用者サービスの向上に努めます。
- ② 区民の自主的活動の支援、相互交流を深めることにより、地域コミュニティを醸成し地域力の向上が図れる取り組みを進めます。
- ③ 区役所と協働し行政情報のPRや行政サービスの提供に努めます。
- ④ 脱温暖化(CO-DO30)・G30を意識した取り組みを進めます。
- ⑤ 経費の節減を図り効率的な運営に努めます。

〈業務概要〉

本郷地区センター・豊田地区センター・上郷地区センターのほかコミュニティハウス(4)・老人福祉センター翠風荘・横浜市桂山公園子どもログハウスの9施設の一体的な管理運営を行っています。

平成22年度には約46万人の利用がありました。

〈主要業務〉

- ① 施設の管理運営
- ② 自主事業などの実施による区民の活動支援・生涯学習活動の支援・地域交流の推進

ウ 運営団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

- ① 3地区センター利用者数 28万2,000人（平成22年度実績）

稼働率58.4%

- ② 運営管理している施設の総数9施設

現在管理運営している主な施設名	所在都道府県市区名	業務開始年月	業務区分
横浜市本郷地区センター	横浜市栄区桂町 301	平成7年4月1日	施設の管理運営
横浜市豊田地区センター	横浜市栄区飯島町 1368-1	平成7年4月1日	
横浜市上郷地区センター	横浜市栄区上郷町 1173-5	平成18年5月1日	
上郷コミュニティハウス	横浜市栄区桂台南 2-34-1	平成7年4月1日	
本郷小学校コミュニティハウス	横浜市栄区中野町 16-1	平成7年4月1日	
庄戸中学校コミュニティハウス	横浜市栄区庄戸 3-1-1	平成9年4月19日	
横浜市飯島コミュニティハウス	横浜市栄区飯島町 1863-5	平成19年5月1日	
老人福祉センター横浜市翠風荘	横浜市栄区野七里 2-21-1	平成18年4月1日	
横浜市桂山公園子どもログハウス	横浜市栄区桂台中 16-1	平成7年4月1日	

2 こどもログハウスの管理運営

(1) 管理運営方針

栄区ではこどもログハウスの利用対象者である15歳未満人口が、20年間で5%減少し平成21年度には、13.2%となっています。

核家族化、隣近所のつきあいの希薄化などにより顔の見える関係がなくなりつつあり、孤立感や育児不安感を抱くなどの原因が重なり少子化傾向が定着してきました。

こどもログハウスは、遊びを通じて成長することができる場として、幼児と親との触れ合いの場として、また、青少年の健全育成を推進する場として設置された施設です。こどもログハウスでの親同士の交流・こども同士の遊びなどをとおして孤立感や育児不安の解消に、また、健全育成に一定の役割を果たすものと考えます。

こうした目的と役割を実現するため以下の管理運営方針に基づき事業を進めてまいります。

①笑顔で優しい挨拶

誰でも気軽に利用できるような雰囲気をつくるには、スタッフが笑顔で優しく挨拶することが大切です。

②楽しく利用できるサービス提供

未就学児から中学生までが対象の施設ですが、特に小学校低学年以下のこどもが楽しく安全に遊べる紙製のラケットや布製のボール・グラブなどの遊具をスタッフが手作りし、年齢に応じて怪我しないで楽しく遊べるようにします。

③利用マナーに配慮した適切な案内

一定のルールを守ることによって誰でもが安全・安心に利用できます。初めての利用時には利用ルールを説明し施設内の秩序が維持できるようにします。また、施設内秩序が乱れそうな場合には、利用ルールを確認するなど適切な案内をします。

④清潔な環境の保持

こどもが利用した遊具等を閉館前に布で拭いたり床を雑巾で拭くようにします。また、トイレは利用開始前に清掃します。

3 事故防止・緊急時対応

《事故防止について》

- (1) スタッフによる遊具点検
開館時に毎日、ネットの綻びや床板の腐食、ベランダの手すりの状態や遊具の点検をチェックリストで確認しながら実施します。
- (2) スタッフによる見回り
利用者がマナーを守って利用しているか、危険な遊び方をしていないか適宜、施設内を見回ります。
- (3) 分かりやすいポスターの掲出
事故が発生しやすい場所の注意や遊具の危険な利用を注意するポスターを分かりやすい表現で掲出します。
- (4) 室内環境の保持
使用していない遊具等の散乱を発見した場合には片付けたり、床が濡れている場合にはふき取って転倒防止に努めるなど安全な環境保持に努めます。
- (5) 危険遊具等の使用中止
遊具等の点検の結果、事故発生の危険が予見される場合には、速やかに利用を中止し事故防止を図ります。

《緊急時対応について》

事故等が発生した場合の対応は次のとおりです。

- (1) 事故状況・負傷の状況の確認、応急手当
- (2) 負傷者の記録
こどもの名前・保護者の名前・連絡先を記録する。
付き添いの保護者がいない場合は、保護者に連絡する。
- (3) 救急車の手配
付き添いの保護者がいない場合は、状況によりスタッフ1人が同乗する。
- (4) 関係機関への連絡
スタッフは事務局に連絡する。事務局は必要と判断した場合には区役所（地域振興課）に状況を報告する。
- (5) 事故報告書の提出
スタッフは、必ず事故報告書を作成し事務局と区役所（地域振興課）に提出する。
- (6) 保護者への確認
事後あるいは翌日必ず保護者に連絡し状況を確認し、事務局に報告する。
事務局は、必要に応じ相手方と連絡し以後の対応を相談する。
- (7) 不審者対応
不審者が侵入して来た場合には、利用者をベランダ側非常口に避難誘導します。また、警察に通報するなど関係機関への連絡を速やかに行います。
こうした対応が迅速に実施できるよう専門家を招いた防犯訓練などに取り組みます。
- (8) 防災対応
火災発生時の避難訓練などを消防署に協力いただき年2回実施します。

4 地域ニーズ、利用者ニーズの把握と運営への反映

《地域ニーズ・利用者ニーズの把握》

栄区は、区民の平均年齢が18区中4番目に高く44.5歳です。また、高齢化率は23.3%と18区中最も高くなっています。一方、15歳未満の年少人口割合は、13.2%で本市平均よりもやや低いものの18区中6番目となっています。

区内では、高齢化率が高くなる傾向ですが、年少人口割合は平成27年(2015年)には12%程度と安定的に推移すると見込まれております。また、年齢別人口構成では20歳～39歳の子育て世代が26.5%と高い割合を占めています。こうした栄区民の年齢構成から、育児支援・保護者の孤立不安感の解消・児童虐待の未然防止・青少年の健全育成などが求められています。

また、保護者からは、こどもが安心して安全に遊べる場所、多くのこどもがふれあえる場所、保護者同士の交流の場所、3世代交流ができる場所が求められています。

こうした、地域ニーズ・利用者ニーズを的確に事業に反映させるため運営委員の意見を参考にしたりイベントごとに利用者アンケートなどを行います。

また、館内に「ご意見箱」を設置し利用者のご意見をお聞きするようにします。

《運営への反映》

* 地域ニーズ・利用者ニーズを反映した自主事業を実施します。

節分・こどもの日・七夕・クリスマスなど季節ごとの自主事業を実施しこどもが楽しめるイベントを実施し青少年の健全育成に取り組みます。

また、敬老の日などにこども・保護者・お年よりが参加できる自主事業を実施し世代間交流を促進します。

さらに、育児不安を解消するため救急手当など保護者を対象にした自主事業を実施します。

* 気軽に利用できる雰囲気づくり・気軽に話しかけられる雰囲気づくりに努めます。

* 幼児・小学生が怪我をしないで安全に楽しく遊べるような遊具をそろえます。

* 施設内秩序の維持に努めます。

利用者が楽しく安全に安心してご利用いただけるようスタッフが適切に利用案内を行い事故防止に努めます。

5 事業の企画・実施

(1) 利用者サービス向上に向けた取り組み

《サービス向上の取り組み》

利用者が快適に楽しく利用していただくには、利用者の立場にたった職員の心のこもったサービスがなにより大切と考えます。

次の取り組みを行います。

- ①明るく優しく親切に案内します。
- ②やさしく見守る一方、館内秩序の維持に努め、事故防止に努めます。
- ③スタッフが心をこめた手作りのおもちゃを提供します。
- ④いつも清潔に保つよう心がけます。
- ⑤落書きを発見した場合には速やかに消去して、美観の保持に努めます。
- ⑥救急箱を備え、簡単な治療ができるようにします。

《自主事業の取り組み》

こどもログハウスには、年間約4万人の利用者がいます。この利用者が楽しく有意義な時間が過ごせるよう、以下のような自主事業に取り組みます。

①季節ごとにその時季にふさわしい自主事業

節分・ひなまつり・こどもの日など季節ごとの伝統行事やハロウィンなどを実施します。こどもたちが日本文化や伝統行事について楽しく学ぶ機会にします。

②保護者の育児支援

救急手当て教室

核家族化が進み孤立感を抱いている子育て世代の保護者に簡単な救急手当てを学んでもらいます。育児不安の解消を図ります。

③防犯教育

夏休み期間中に小学生向け防犯教室を開催し、防犯意識の高揚をはかります。

④世代間交流

敬老の日やお正月を中心にこどもと高齢者が参加する事業を検討します。こどもと高齢者が世代を超えた交流を行い相互理解・地域間交流の拡大の機会とします。

⑤地域交流

* ロッキー祭り

こどもログハウスが開設した11月に「ロッキーまつり」を開催します。まつりで使用する遊具などの材料となる牛乳紙パック・ペットボトルなどの提供を利用者や地域の皆様に呼びかけ、地域と協働のイベントにします。

こうした取り組みにより来館者が地域を超えて交流する機会とします。

* 地域ボランティアによる読み聞かせ

地域の方に呼びかけ、本や紙芝居の読み聞かせのボランティアに協力いただき、物語を楽しむ時間を持ってもらい、こどもの思考力・想像力を高めます。

5-(2) 施設の利用促進に向けた取り組み

(1) 広報の充実

多くの区民に利用して頂くには、こどもログハウスの活動を知ってもらうことが大切です。様々な広報媒体を利用して活動PRを行っています。

① ホームページ

支援協会のホームページで自主事業の予定や実施結果についてお知らせします。

② 広報よこはま「さかえ区版」

毎月発行される広報よこはま「栄区版」に自主事業の実施案内を掲載し、区民に広く周知します。

③ 自治会町内会への広報

自治会町内会の回覧時にログハウスの利用案内や自主事業の案内をしていただくように約4,000枚を作成し協力をお願いします。

④ 保育園・幼稚園・小学校へのPR

こどもログハウス周辺の保育園・幼稚園で自主事業案内の掲示をお願いしたり・小学校にお願いし全生徒にチラシの配付をお願いします。

⑤ 新聞販売店の無料折込への掲出

新聞販売店の無料折込に自主事業のお知らせを年2回程度掲載し購読者にPRします。

⑥ 月刊誌「ファミリーウオーカー首都圏版」(角川マーケティング発行)

開館時間・

休館日・自主事業などの掲載に協力します。

⑦ タウン誌への情報提供

「はまかぜ」「タウンニュース」に情報提供し、掲載されるように努めます。

⑧ ケーブルテレビへの情報提供

「JCNよこはま」に情報提供し、事業活動を広くPRするように努めます。

⑨ 公共施設でのPR

区役所・地区センター・図書館・区民活動センター「ぷらっと栄」・JR本郷台駅・港台駅などで掲示いただけるように努めます。

(2) 魅力あるイベントの実施

こどもや保護者が行ってみたい、参加したいと思うイベントを企画し利用促進を図ります。

① ロッキーまつりの開催

毎年開設日(11月16日)を中心にロッキーまつりを開催します。開催にあたっては、広報よこはま「さかえ区版」や町内会での回覧、タウン誌へ掲載するなど積極的にPRします。

③ 話題性のあるイベントの開催

季節ごとの伝統行事を実施し話題性を提供し、利用促進に努めます

運営目標

利用者数 38,300人(平成22年度実績37,896人×1.01)

施設内での骨折等の負傷事故 ゼロ

平成24年度桂山公園こどもログハウス自主事業計画書

【平成24年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たりの参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
(伝統行事) こどもの日 ～こいのぼりをつくろう～	幼児～小学生 300 0	3,000	3,000			3,000	
(講習会) 救急手当教室 ～若いパパママへ、いざというときに～	幼児と保護者 30 0	0	0			0	
(伝統行事) 七夕イベント ～天の川に願いをのせて～	幼児～小学生 150 0	4,000	4,000			4,000	
(講習会) 小学生向け防犯教室 ～防犯力を身につけよう～	小学生 30 0	0	0			0	
(生活) 夏休み工作教室 ～夏休みの宿題のヒントに～	幼児～小学生 120 0	4,000	4,000			4,000	
(生活) ハロウィン ～かぼちゃとおぼけ～	幼児～小学生 150 0	4,000	4,000			4,000	
(おまつり) 第21回ロッキーまつり ～みんなあつまれ！～	幼児～中学生 — 0	33,000	33,000		18,000	13,000	2,000
(生活) クリスマス ～クリスマスをたのしもう～	幼児～中学生 150 0	5,000	5,000			5,000	
(伝統行事) ひなまつり ～かわいいおひなさまをつくろう～	幼児～小学生 120 0	4,000	4,000			4,000	
(生活) おはなし会 ～みんな静かに聞こう～	幼児～小学生 — 0	3,000	3,000			0	3,000
10事業		60,000	60,000	0	18,000	37,000	5,000

平成24年度桂山公園こどもログハウス自主事業計画書(単表)

【平成24年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
こどもの日	施設に5月人形を飾り、日本の伝統行事であるこどもの日をロッキーで元気に過ごしてもらおう。	5月
～こいのぼりを つくろう～	内容	回数
	色画用紙や廃材などを利用して、スタッフの指導でこいのぼりを作ってもらい、家に持ち帰って飾ってもらおう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(講習会)	目的	実施時期
救急手当教室	子どもたちがケガした時、または何かを誤飲した時など緊急時に慌てずに対処できるように、お父さんやお母さんに学んでもらう。	6月
～若いパパママへ、 いざというときに～	内容	回数
	消防署の職員を招いて、子ども向けの蘇生方法、ケガをした時の止血方法、誤飲の際の対処方法など、救急手当の方法を講習してもらおう。一昨年からはじめて、非常にわかりやすく的確な講習で好評だったので、毎年恒例の事業としている。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
七夕イベント	日本の伝統行事である七夕に、七夕飾りや短冊などを作り、子どもたちに願い事を考えることで、未来への夢や希望を考える時間を持ってもらう。	7月
～天の川に 願いをのせて～	内容	回数
	折り紙や色画用紙で、きれいな飾りや短冊を作ってもらおう。子供たちに書いてもらった短冊や七夕飾りを施設に展示し、七夕の雰囲気盛り上げる。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(講習会)	目的	実施時期
小学生向け防犯教室	夏休みはいる前に、小学生に向けて「知らない人に声をかけられたらどうするか」「遊びに行くときは家族に言ってから」などの自分たちで出来る防犯について学んでもらい、事故防止に努める。	7月
～防犯力を身につけよう～	内容	回数
	神奈川県研修担当職員を招いて、小学生向けに防犯について講習会を開く。実演をまじえて講習することで、夏休み中の防犯意識を持ってもらう。一昨年からはじめて講習会でたいへん有意義な講習だったので恒例の事業にしている。	1回

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
夏休み工作教室	静かに作品を作ること、集中力を養い、また作り上げる喜びを味わってもら。未就学児には親子で作る喜びを味わってもら。	8月
～夏休みの宿題のヒントに～	内容	回数
	身近な材料を使った工作を子どもたちに作ってもらい、施設に展示したり、自宅に持ち帰ってもら。夏休み中に数日間ほど開催する。毎年恒例の行事だが、工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
ハロウィン	ハロウィンに向けて、かわいらしい飾りを作って、施設に飾り付けたり、自宅に持ち帰ってもらいハロウィンを楽しむ。	10月
～かぼちゃとおぼけ～	内容	回数
	スタッフ指導の下で、身近な材料を使って、子ども達にハロウィンの飾りを作ってもらい、施設に飾ったり、自宅に持ち帰ってもら。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(おまつり)	目的	実施時期
第21回ロッキーまつり	毎年恒例のロッキー誕生まつり。普段出せない遊具(トランポリンなど)やスタッフ考案の新しい遊びなどでたっぷり楽しんでもらう。また、マジックショーなど普段と違うロッキーを楽しんでもらうことと、広く広報することで新しい利用者の増加を図る。	11月
～みんなあつまれ～	内容	回数
	スタッフ全員で準備したゲームやおもちゃ、恒例のマジックショーなどのメインイベントで普段と違う遊びを楽しんでもらう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
クリスマス	施設にクリスマスツリーなど飾り付けをし、子どもたちにクリスマス用の飾りを手作りしてもらい、みんなでクリスマスを楽しんでもらう。	12月
～クリスマスたのしもう～	内容	回数
	身近な材料を使って子どもたちにクリスマス用の飾りを飾りを作ってもらい、施設に飾ったり自宅に持ち帰って楽しんでもらう。	1回

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
ひなまつり	施設に雛人形などを飾り付けし、簡単な雛人形の工作を作ってもらふことで、女の子のお祭りであるひなまつりを楽しんでもらう。	3月
～かわいいおひなさまをつくろう～	内容	回数
	身近な材料を使い子どもたちに簡単な雛人形を作ってもらい、施設に展示したり、自宅に持って帰ってもらいひなまつりを楽しんでもらう。毎年恒例の行事だが、工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているの好評を得ている。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
おはなし会	絵本や紙芝居を静かに聞いたり、手遊びなど身近で素朴な遊びを楽しみながら、色々な国のお話にふれてもらい、情緒を豊かにする時間をもってもらふ。	毎月
～みんな静かに聞こう～	内容	回数
	毎月1回、近隣のボランティアの方が、絵本や紙芝居の読み聞かせや、手遊びを子供たちに教える。	12回

平成24年度

収 支 予 算 書

横浜市桂山公園こどもログハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

平成24年度横浜市桂山公園こどもログハウス収支予算書

収入の部

科 目	指定管理料		
指定管理料	7,394,000		
利用料金収入			
自主事業収入			
雑入			
印刷代			
自動販売機手数料			
その他()			
その他()			
その他()			
収入合計	7,394,000		

支出の部

科 目	指定管理料		
人件費	5,165,000		
給与・賃金	5,104,000		
社会保険料	11,000		
通勤手当			
健康診断費	50,000		
勤労者福祉共済掛金			
事務費	545,000		
旅費	22,000		
消耗品費	204,000		
会議賄費	3,000		
印刷製本費	0		
通信費	100,000		
使用料及び賃借料			
備品購入費	30,000		
図書購入費			
施設賠償責任保険	49,000		
職員等研修費	2,000		
振込手数料	5,000		
リース料			
手数料	20,000		
地域協力費			
その他(諸費)	110,000		
事業費	60,000		
自主事業費	60,000		
管理費	1,037,000		
光熱水費			
電気料金			
ガス料金			
水道料金			
清掃費	179,000		
修繕費	450,000		
機械警備費	378,000		
設備保全費	30,000		
空調衛生設備保守			
消防設備保守			
電気設備保守			
害虫駆除清掃保守			
その他保全費	30,000		
共益費			
公租公課	230,000		
二一ズ対応費			
事務経費	357,000		
支出合計	7,394,000		

差 引	0		
-----	---	--	--